

海外派遣留学プログラム 帰国報告書

記入日	2024/1/29
所属学部・研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	グローバルスタディーズ

1. 留学先について

留学先大学名	チュンアン大学(Chung-Ang Univ.)									
留学先所属学部等	Faculty of Media and Communication									
留学期間	出発日	2023/2/25	入学日	2023/3/1	修了日	2023/12/21	帰国日	2024/1/24		
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	その他 ()							
	通学時間							<input checked="" type="checkbox"/> On campus		
	通学方法									
	居室スペース <small>✓を入れてください</small>	個室	<input checked="" type="checkbox"/>	(2)	人部屋	その他 ()				
	共有スペース <small>✓を入れてください</small>	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	リビング	その他()
食事	自炊	%	学食	50	%	外食	50	%	その他	% ()
保険	海外旅行保険 <small>(名称・加入プラン名)</small>	留学生トータルサポートプログラム								
	留学先国・大学指定保険 <small>(名称・加入内容)</small>	국민건강보험 (国民健康保険)						<input checked="" type="checkbox"/> 加入必須		
	その他加入保険									
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)									
	羽田 ⇄		仁川(飛行機)			⇄ 大学(タクシー)				

2. 留学資金の内訳

自費		貯金	円	アルバイト	円	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	親	120万 円	家族・親戚	円	その他	円
奨学金		JASSO	円	その他名称 ()			円
その他		()					円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	110万	円
-----	---	------	---

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			30,000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			100,000	円
その他の保険料			0	円
査証・在留許可証			3,000	円
住居	韓国 ウォン	3,568,000	360,000	円
光熱費			0	円
食費			400,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書, 教材費			5,000	円
その他大学に支払った経費			0	円
その他 (雑費)			200,000	円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現地口座から振り込み
住居にかかった費用	現地口座から振り込み
その他	クレジットカードが9割、使えない時は現金

3-3. お金の管理方法

渡航時	現金	30,000 円	その他 ()	円
留学中	<input checked="" type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	その他 ()	

4. 学業面

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無			
			<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
1 MASS COMMUNICATION THEORY	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
2 INTERMEDIATE KOREAN LANGUAGE-A	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
3 INTRODUCTION TO COMMUNICATION STUDIES	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
4 UNDERSTANDING FILM&SOCIAL CULTURE	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
5 NEW MEDIA & SOCIETY	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
6 PSYCHOLOGY OF PERCEPTION	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
7 GLOBAL COMMUNICATION	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無
8 KOREAN HISTORY	正規	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 無

4-1. 授業科目の選択, 登録方法

登録時期は2月中旬に1学期分の、8月中旬に2学期分の授業を登録。留学生に関しては、英語開講や留学生対象の開講科目のみを先に登録できる期間があり、競争率が低いため、シラバスを確認しwebサイトから登録。その後全学生対象の登録期間があり、競争率が高いものの、より多様な授業を選択できる。

4-2. 授業内容, 方法に関して

韓国語のみならず英語、日本語、中国語など、いくつかの言語で開講される授業が多い。特に英語開講の授業が千葉大と比べて多く、受講学生も多かった。ほとんどが対面開講されている。オンライン開講の授業もいくつかあり、字幕機能を活用し、中国語と英語の字幕を提供していたので、留学生にも平等に理解が進みやすいと思った。対面開講の出席の取り方は、学生証を機械にタッチするか、教授の点呼による方法だった。プロジェクターで授業材料を提示し、ホワイトボードも使う人はいたが少数だった。

4-3. 語学力について

英語開講の授業は英語がielts6.0、韓国語はtopik4級程度あればそれなりについていけると思った。聴講しているうちにどちらも耳が慣れるため授業内容はわかるのだが、グループワークをする時にスピーキング能力が気になるので、留学前にある程度の会話や学術用語に慣れておくべきだと感じた。

4-4. 図書館など学内施設について

図書館内に自習室がたくさんあった。1階分ほとんどが自習室になっていて、考査前は24時間開いていた。そのほかにも100周年記念会館や学生会館などにシャワー室などがあり、試験直前になると、学生たちが学内で徹夜することも可能だった。コンビニや美容室、メガネ屋、花屋、パン屋、バーガー屋、文具屋等、さまざまなお店が出店していたため、必要なものはある程度構内で揃う利便性があった。

5. 生活面

5-1. 住居について

2人部屋だったので生活タイプが違くと少し苦しいかな、と思ったが慣れれば気にならない。トイレやシャワー室の掃除などに関して、お互いやらないし話し合わない、というペアの話も聞いたので、ある程度最初に生活スタイルのすり合わせや配慮して欲しい部分を話し合うべきだと感じた。私の場合は、ルームメイトが前期と後期で異なったがどちらも、どちらかが気になった時にやる、という感じだったので、衝突や不快にはならなかった。

5-2. 食生活について

キッチンがなく自炊ができなかったので、食習慣が乱れがちにならないように気をつけた。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

着いてすぐは、パスポートで開設できるプリペイドSIMを契約した。大学の近くにあったお店で契約したが、外国人登録証を受け取ってからは、大手通信会社の格安プランで契約した。インターネットは寮がオンキャンパスなので、Wi-Fiがつながり、大学を出なければほとんど困ることはない。学外でもバス停や駅、カフェなどでフリーWi-Fiがある。通信速度も速かった。だが、電話番号がある方が何かと便利なので、やはり通信会社と契約した方がいいと思う。

5-4. 服装について

冬は非常に寒いので、ロングペディン（ベンチコートのようなもの）があると良い。夏は東京よりも多少過ごしやすい。

5-5. 健康管理について

文化にあまり大きな違いがないので、気をつけた部分はないが、強いて言えば、春先と秋、冬先に、中国からの汚染物質が飛来し、空気が非常に悪いため、喉がイガイガしたり鼻が痛くなったりと異常が出る可能性があった。マスクは屋外で外さないようにし、帰ってきたら手洗いうがいを意識的にしても抗えない時もあった。

5-6. 保険, 危機管理サービスの利用について

特に利用しなかった。

5-7. 課外活動について

留学生が参加するものはほとんど参加した。韓国人との交流も増えるし、他の留学生との交流も増えるので、視野が広がる。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

1学期中は市民講義を聞き、動画SNSの運用や作成について勉強した。無料だった。韓国語の聴解力を向上させるのに役に立った。

5-9. 日本から持参してよかったもの

薬は薬局でも買えるが、いざという時のために少し多めに持っていくといいかも。

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

特にない。

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

とにかくご飯に真剣。ご飯の後にカフェはほぼ必須。目上を敬う文化が非常に強く残っている。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

釜山（2回、どちらも個人旅行、2泊3日と日帰り、移動費が往復一万円以下、その他の費用は1日あたり三千円くらい）。束草（3月末に1泊2日、全部で一万円以下）。龍仁・韓国民俗村、DMZ（大学寮のプログラム、参加費無料、日帰り）

その他

コインカラオケ、お散歩、カフェ巡り等。

6. その他

6-1. 留学先大学について

立地もよく、非常に満足だった。もっと居たいと思うほどに居心地が良かった。ただ学生寮よりもアパートを借りてもよかったかもしれない。

6-2. 留学希望者へのアドバイス

どの言語も話さないとどんどん実力が落ちていくので、英語圏じゃないところに行く際は、英語に触れ続けるようにした方がいいかもです。

6-3. 留学を終えて

日韓英語全部が少しずつ不自由になっているので、もっと向上させたい。